

ミツバツツジやハナモモが咲き乱れ、例年となにも変わらない五月の風景が広がる東白川村。しかし今、私たちの生活は一変し、新型コロナウイルス感染症まん延のための息苦しい時間が流れています。全世界を恐怖に陥れたこの新型コロナウイルス感染症、終息の兆しが見つかりません。ワクチンや治療薬が開発できるまで、感染しないこと、感染させないことでしか自分を守り家族を守る手段はありません。

引き続き、村民の皆様には手洗い、マスク着用などの徹底、その上で不要不急の外出を控えること、密閉空間、密集場所、密接場面を徹底的に回避することをお願いします。

感染予防でお願いしている様々な自粛、生活不安への対応、国が行なう緊急経済対策事業を正常にかつ迅速に実施することが地方自治体に求められています。しかも、このウイルスとの戦いは長期戦を覚悟しなくてはなりません。既に小中学校の休校措置は5月末まで延長することになりました。5月6日までとなっている緊急事態宣言も延長される可能性が大きくなってきました。

東白川村では、以下の事業についてスピード感を持って着手、又は実施に向けて準備を開始しています。

#### 【国・県の事業】

- ①感染症拡大防止協力金の申請応援
- ②特別定額給付金事業の申請から給付の事務

#### 【村単独の事業】

- ①感染あるいは疑いのある人が発生した場合で軽症の方の収容施設の提供
- ②全村民を対象とした「おべんとう券」の配布事業
- ③感染防止のためのマスクの各家庭への配布(5月15日頃)
- ④岐阜県提唱の「みんなでマスクを作ろう運動」の実施
- ⑤必要な方への保育の場の提供
- ⑥高齢者の健康維持の支援
- ⑦道の駅など第三セクターの休業
- ⑧中川原水辺公園など村有施設の使用制限、あるいは自粛要請
- ⑨CATVを活用した児童生徒の家庭学習の応援
- ⑩感染防止や行動自粛、健康維持の啓発番組の放送
- ⑪国、県の対策の迅速な情報提供
- ⑫緊急事態宣言が延長された場合の次なる助成制度や支援制度の準備

これで万全とは到底まいりませんが、全村民、力を合わせて、戦後最大といわれるこの国難を乗り切ろうではありませんか。

不安なこと、お困りのこと、何でも役場まで御相談下さい。

令和2年5月1日

東白川村長 今井俊郎